

## 〈朝鮮民主主義人民共和国からのメッセージ〉

### 朝鮮学校無償化排除に声をあげ、ともに闘おう！

在日本朝鮮民主女性同盟

国際婦人デー東京集会の開催に際し、わたしたち在日本朝鮮民主女性同盟は集会に参集された皆さんに心から連帯のメッセージを送ります。

わたしたちは戦争反対と平和、女性の自由と尊厳、権利を守るために声をあげ行動しておられる皆さんに心から敬意を表します。

今年は朝鮮が解放されて七五年に当たります。

一九四五年八月十五日は朝鮮民族にとって日本の過酷な植民地支配から解放されるという喜ばしい日でありましたが、その日から今日までの七五年という歳月は外部勢力による国の分断が始まり、北と南、海外に民族が引き裂かれた苦難の道のりでもありました。

わたしたち在日朝鮮人は、植民地時代に強制連行により、あるいは生きる糧を求めて自分の意志に反して祖国を離れて日本に渡ってきた一世から始まり今では三、四世が中心となり、五世の時代を迎えています。

在日朝鮮人が声を大にして訴えたいことは、日本政府による朝鮮民主主義人民共和国とその延長としての在日朝鮮人に対する敵視、迫害、差別に基づく政策のために著しい差別と基本的人権、生存権が蹂躪された状態を強要され続けているという事実です。

教育の権利一つを見ても、植民地時代に奪われた朝鮮の文字と言葉を取り戻そうと解放直後に国語講習所からスタートした民族教育も日本政府によって厳しく弾圧され、数年後には民族学校が強制的に閉鎖されただけでなく、その後も粘り強く民族教育の権利を獲得し守る過程でもあらゆる厳しい弾圧、規制、差別を受けてきました。

最近では、「高校無償化」で朝鮮学校だけがその対象から外され、ひいては「幼児教育・保育無償化」においても、実際にはわたしたちの幼稚園だけを排除する口実が設けられ強引に排除されています。

もちろん、わたしたちはこれまでと同様に日本の心ある友人の支援を得ながら在日朝鮮人の人権、教育権を守るために粘り強く闘ってまいりますし、これからもこのたたかいを続けてゆく所存です。

この機会にわたしたちは、在日朝鮮人の学ぶ権利をはじめとする基本的権利擁護のための努力に惜しみない支援を寄せてくださる日本の友人の皆さんに感謝の意を表します。

わたしたちが現在、もっとも力を入れていることは「幼保教育・保育無償化」の権利を勝ち取ることです。

この制度の趣旨と目的からして朝鮮学校幼稚園をはじめ外国人学校だけが除外されるということは決して容認できません。

日本政府の除外措置は「すべての子どもが健やかに成長するように支援するもの」とした幼保無償化の法律や、「いかなる差別もなしに権利を尊重し確保する」といった子どもの権利条約に反する不公平なものとして非難を浴びています。

わたしたちは日本政府が、子ども子育て支援法の理念や子ども権利条約に則り、各種学校の外国人学校幼稚園への適用を一日も早く実施することを求め全国で署名運動を開始しました。

わたしたちは日本の皆さんが、朝鮮学校幼稚園、外国人学校幼稚園の無償化実現によりいっそうのご支援、ご協力を寄せてくださるよう強く訴えるものです！

わたしたちはこれからも女性と子どもたちの輝かしい未来のために、皆さんと共に力強く前進してまいります。